



結婚にかかる費用は平均421万円

新生活の準備に141万円
8割が親・親族から援助

気候の良いこれからの季節は結婚式のシーズンです。とくに6月（ジューン・ブライド）は、女性にとって特別な月であり、式を挙げるカップルも増えています。最近は、レストランを借り切った挙式とパーティ、ゲストハウスや多目的ホールなどの部屋だけを借りて自由にプロデュースするセルフウェディングなども人気のようです。

ただ、晩婚化の流れは依然変わっていないようで、厚生労働省の「人口動態統計」によれば、2007年に結婚した夫婦の数は約72万組、結婚時（初婚）の平均年齢は、前年よりさらに伸び、男性が30.1歳、女性が28.3歳となっています。

1975年では男性が27.0歳、女性が24.7歳でしたから、約30年間で、それぞれ3歳以上も上昇しています。

「いずれは…」もしくは「もうすぐ…」と考えている方、また将来の子どもの結婚資金の援助を考えている親世代にとって、やはり気になるのが、一体どれくらいの費用がかかるのかということです。

リクルート発行の結婚情報誌が調査した「ゼクシィ結婚トレンド調査2008」によれば、結婚・結納から新婚旅行までにかかった費用総額の平均は421万円となっています。そのうち挙式、披露宴・披露パーティ費用は317万円で、招待客1人あたりでは4.9万円です。この費用は新婚旅行までのもので、これに家具・家電製品の購入や引っ越しなどの費用



が必要です。「ゼクシィ新生活準備調査2008」では、新婚カップルの新生活準備費用の総額は141万円となっており、結婚費用と合わせると562万円にのぼります。一方、親・親族から援助があった人は約8もあり、援助があった人の援助額の平均は199万円です。

「結婚」は将来のライフプランを考えるうえで大変重要なイベントのひとつです。幸せな結婚生活を送るためにも、早めに計画を立て、準備しておくことをおすすめします。



保険情報サービス株式会社

〒120-0005

東京都足立区綾瀬3-16-4 とうしんビル3F

TEL 03-5682-7070 FAX 03-5682-7071

<http://www.hoken-joho.co.jp/> info@hoken-joho.co.jp

～さあ、保険いいとこ取り～

ナットク ミツモリ
0120-7109-32